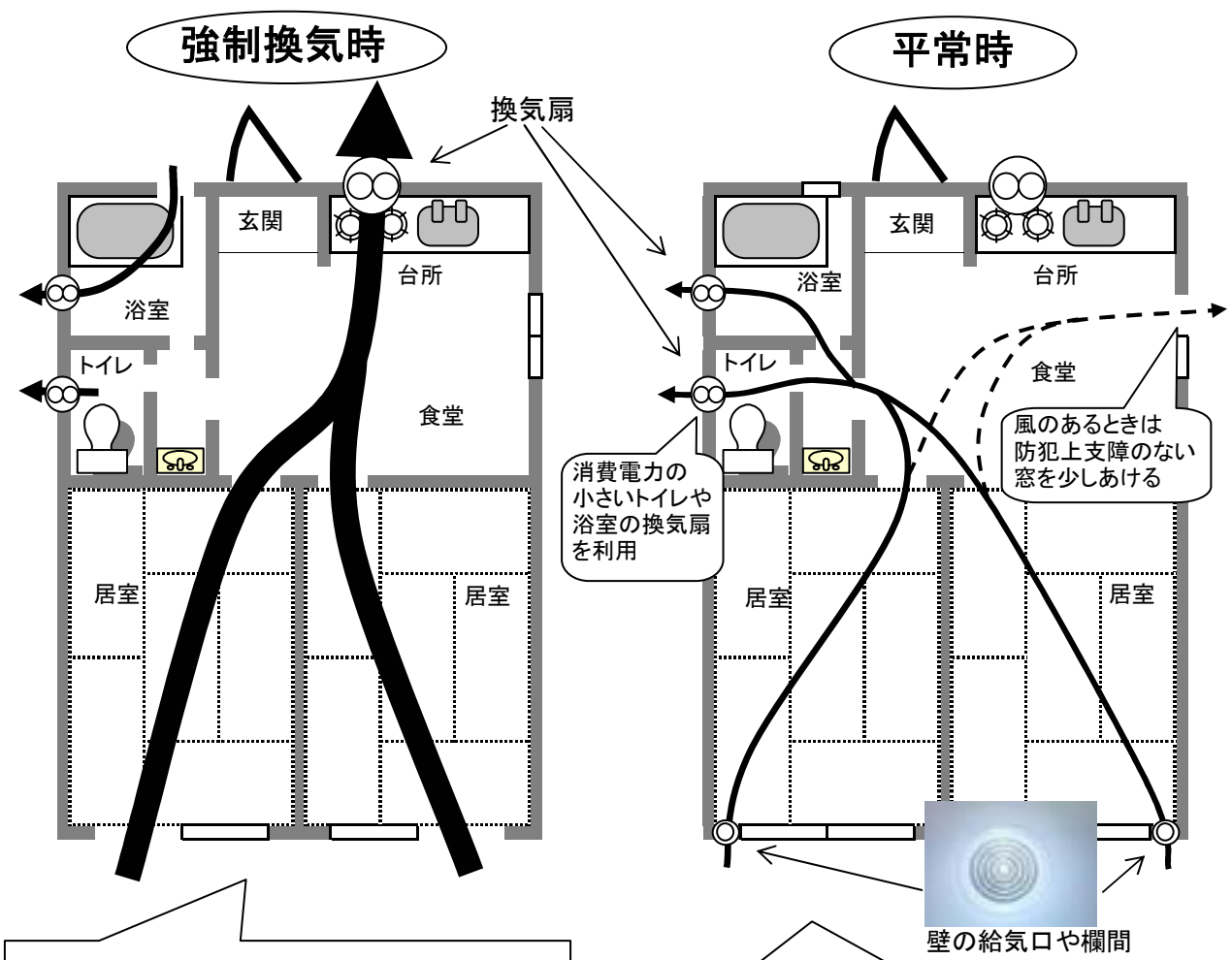


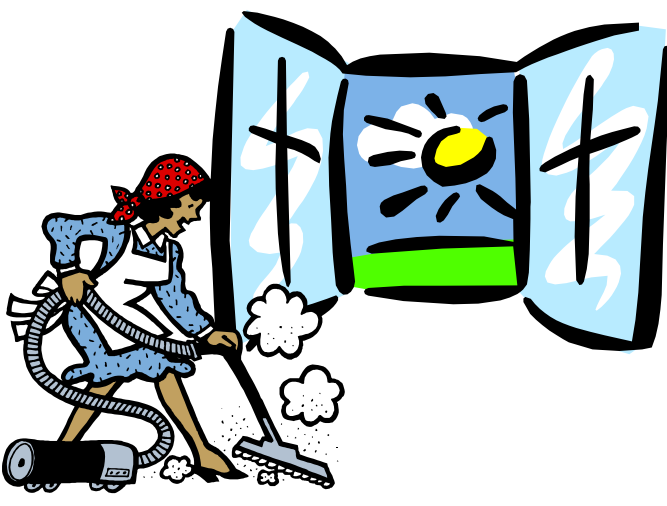
空気の流れを考えて、状況にあわせた賢い換気！



調理時のように、湿気やにおい・燃焼ガスなどが多く発生するときは、台所など発生場所近くの換気扇を使用して強制的に換気します。
 このとき、ほかの部屋に、におい等が拡がらないように、空気の経路を考えましょう。
 (図は、台所のにおい等が居室側に拡がらないように、空気の入口として、台所と反対側の窓を開けた例です)

それほど多くの換気量を必要としない平常時は、トイレなどの小さな換気扇を利用します(空気の入口は、壁の給気口などでかまいません)。
 外に風のあるときは、防犯上問題のない窓等を2箇所以上、少しずつあけておけば、換気扇を使う必要はありません。
 いずれの場合も、空気の入口・出口は離してください。

ちりやほこりは窓あけで！



掃除機がけや布団の上げ下ろし、エアコンの運転開始直後などは、空気中に多くのちりやほこり(ダニアレルゲンやカビの孢子なども)が舞っています。これらは空気よりも重いいため、30分くらいかけてゆっくり床に落ちていきます。
 そのため、普通の換気方法や空気清浄機でこれらを取り除こうとするよりも、窓を大きく開けて、いっきに追い出すほうが効率的といえます。